

金剛地区活性化に向けた意見交換会 第1回 まとめ

1. 開催概要

○日時：平成28年5月22日（日）午前9時半～11時半

○場所：金剛連絡所2階ホール

○参加者：26名（A班：9名、B班：7名、C班：9名）

※NPO法人きんきうえび（オブザーバーとして：2名）

○プログラム

- ① あいさつ（まちづくり推進課）
- ② 自己紹介
- ③ 意見交換会のすすめ方について（資料① 意見交換会のすすめ方）
- ④ 金剛地区の現状（資料② 金剛地区の現状）
- ⑤ 金剛地区再生指針の方向性（案）について（資料③ 金剛地区再生指針の方向性（案））
- ⑥ 金剛地区活性化に向けた意見交換
- ⑦ その他

2. 当日の様子



3. 主な意見

資料②「金剛地区の現状」、資料③「金剛地区再生指針の方向性（案）」をもとに、金剛地区の目指す将来像、重点的に取り組む項目について、3班に分かれて、意見交換を行いました。

①目指す将来像について

- 金剛地区の魅力は美しいまちなみだと思うので、その魅力を守ってきたい。
- 金剛地区には「便利だがゆとりがあり、落ち着いたまち」「暮らしやすく環境がよいまち」「災害が少ないまち」という個性・魅力がある。この良さを残していきたい。
- 子育て環境の充実、学力やスポーツなどで、特色のある魅力的な教育環境づくりをしたい。
- 多世代が交流するまちにしたい。
- 歩いて暮らせるまちにしたい。（歩いて行ける身近な場所に個人商店や市場等がある）
- 住民の暮らしを支える、安心なまちにしたい。
- 災害対策や防災インフラを充実させた安全なまちにしたい。
- 行政計画への住民参加が定着したまちにしたい。

②重点的に取り組む項目について

◆ 施設等の活用について

- 遊休施設を活用した、高齢者・子育て世帯どちらも使える複合施設、福祉施設、多目的施設等の整備に取り組む。
- ピュア金剛や中央公園等を活用し、活性化の目玉となるような事業を推進する。
- 青少年スポーツホールのあり方を見直しする。
- 駅前機能と、駅前の都市空間を魅力的にする。

◆ 公園等について

- 寺池公園を「歩いて楽しめる」場所にする。
- 公園、緑地には水飲み場やトイレもないところがある。使ってみたいと思えるような魅力づくりが必要だと思う。

◆ 地域活動・地域住民のつながり

- 伏山の農業への参加など、地域間交流を推進する。
- 住民の持つ、多様なスキルを共有する場づくり。
- 地域の活動団体の情報交流、それらのネットワーク化を進める。
- 金剛地区としての意見を取りまとめ、活動していく上で、連合町会のような、単位町会と町総代会の中間組織が必要だと思う。

◆ 買い物・交通等の高齢者支援について

- 買い物難民を支援する。（移動スーパーなど）
- 高齢者の見守り活動を行う。
- 特に高齢者の移動手段に課題があるので、主要施設までの交通手段を整備する。（バス路線・バス停の見直し、巡回バスの整備など）
- 交通利便性を改善し、周辺地域に負けない環境づくりを進める。

◆ 子育て世代を中心とした、新たな住民の呼び込み

- 引っ越してきた若い世代の、コミュニティ活動への参加を促進する。
- 大学生の地域活動への参加を促進する。また、大学生向けの住宅作りに取り組む。
- 金剛第二・第三団地を活用する。（部屋のリフォームをやりたい若い世代が入居するのでは）
- ファミリーレストランなど、家族で飲食ができる場所を作っていく。
- 保育料が安い、治安がよいという今ある地区の魅力をPRする。
- 周辺の地域に負けない魅力的な学校づくり（綺麗な学校、適切なクラス数・児童数等）等を推進する。まちの魅力が高まれば、若い人が増え、人口も増えると思う。

◆ その他

- 防災・防犯対策をすすめ、安全安心なまちづくりに取り組む。
- まちのキャッチフレーズをつくる。（例：ロングステイビレッジ）
- 森屋狭山線の渋滞が地区の大きな課題となっているので、改善に向けて取り組む。

③その他

◆ 意見交換会のすすめ方等について

- 今年度指針を策定して終わりではなく、議論できる場を継続すべきだと思う。
- このような計画に住民参加できるようになったのはよいことだと思う。行政頼りではなく自分たちでできることは自分たちですべきだと思う。一つ一つの課題に対して、地域住民らでどのように取り組んでいきたいか示していきたい。
- 意見をまとめるだけでは具体的に再生の取組が前に進まないと思う。

◆ 指針のあり方について

- 長期的視点でのビジョンづくりが重要だと思う。
- 金剛地区内だけでなく、周辺の地域まで視野に入れて考えていきたい。
- グローバルな視点から、金剛地区の再生がどうあるべきか考えるべきだと思う。
- 課題についてマクロとミクロの視点からも整理・検討すべきだと思う。

◆ その他

- 現状分析について、犯罪・空き巣・交通事故件数など、まちの安全に関する状況も追加してほしい。
- 金剛地区から転出する人は、どこに転居し、またその転居先にどのような魅力があるのか知りたい。
- UR 都市機構、南海電鉄、近畿日本鉄道などの関係事業者、市の考えを聞く場、話し合いの場を設けてほしい。

4. その他

○「金剛地区再生指針策定協議会」※について

意見交換会出席者より「金剛地区再生指針策定協議会」委員を5名選出しました。

（協議会については金剛地区住民の皆さんが、傍聴できるようにして欲しいとの意見がありました。（開催日程のアナウンス、金剛地区内での開催など）

※「金剛地区再生指針策定協議会」は、住民、地域活動団体（NPO 法人等）、UR 都市機構、関係事業者、関係行政機関、学識経験者等で構成し、再生指針策定に関する検討・議論を行います。

○次回の意見交換会について

- ・8月前後の土日の午前中を予定。
- ・次回の議題は、①本日の意見を踏まえた再生指針の素案について、②リーディングプロジェクト（案）と参考となる先行事例を予定。